

バカ拳 (1987)

EXCITING DRAGON

メディア 映画

ジャンル アクション

製作国 香港

時間 98分

公開情報 劇場未公開・ビデオ発売

【解説】

宝の剣と鎧を手にいれ、天下支配を狙う悪の拳法家と正義の拳法家（ちょっとマヌケ）の戦い。悪の拳法家に祖母を殺された主人公・犬は発明家の親方と復讐を誓う。親方の作る数々の特訓マシンのおかげで、犬は徐々にパワーアップ！ ついに悪との最終決戦の時をむかえる。特訓シーンが最大の目玉で、発明家の親方が次から次へと開発する特訓マシーンが爆笑。カメラで敵の動きを撮影したり、雷の電力での体質改造、果ては睡眠教育まで、時代考証の無視加減が「仮面の忍者・赤影」のようで小気味良い。最高なのは、各関節の自律神経をわざと叩かせて、反撃する戦法（脚気の検査と同じ要領）。“バカ拳”とはよくも付けたりの邦題である。対する敵も一筋縄でいかない。敵の親玉は、手にバネの付いた鋼鉄製の掌型飛び道具を付けている。二人の部下は部下で、一人は、頭にロウソクを立てて、そこから火炎放射。もう一人は、ノコギリ状の大型ヨーヨーを使う。さらには、この二人が合体して、ノコギリ車輪のロケットカーになったりする。単なるクンフー映画の枠には収まらないアイデア満載の佳作。

【クレジット】

監督 チョウ・チュンヒン

出演 ソン・コクミン

リャン・チャージェン Liang Chia Jen

フィリップ・コウ Phillip Ko